

平成 29 年度 公益社団法人島根県水産振興協会事業計画書

◆基本方針◆

- (1) 栽培漁業を推進するため、マダイ、ヒラメ、イワガキの種苗生産を推進する。
- (2) 栽培漁業の推進のため、地域水産振興部会と連携し、ヒラメ、マダイ稚魚の中間育成・放流を実施し、資源の増殖を図る。
- (3) 沿岸漁場の有効利用と各種種苗の放流並びに養殖漁業の振興を図る。
- (4) 放流効果実証事業を実施する。
- (5) 栽培漁業推進ファンドの運用益、海づくり協会補助金、県交付金等を活用し、栽培漁業の推進にあたる。
- (6) 漁業生産の増大、漁村地域の活性化を図るため助成事業を実施する。
- (7) 栽培漁業に関する情報発信を強化する。

1 沿岸漁場整備開発促進等事業

- (1) 漁場の有効利用にかかる調査や放流種苗の追跡調査並びに管理方法等について必要な調査を実施する。また、漁場保全にかかる広報活動等を実施し、沿岸漁業振興の推進を図る。
- (2) 本県水産業の発展を図るため、各種漁業振興のための助成事業への支援を行う。

| 事業名 | 事業内容 |
|--------|--|
| 漁場保全事業 | 磯焼け対策事業：食害生物除去、母藻設置（出雲市、益田市） |
| 受託事業 | 水産環境整備事業利用状況調査業務(県漁港漁場整備課) 種苗放流による資源造成支援事業（(公社)全国豊かな海づくり推進協会） |
| 助成事業 | 助成事業実施規程に基づく「担い手となる次世代の育成に関する事業」、「漁場環境及び水産資源保全に関する事業」等 海難遺児育英資金給付 |

2 中間育成・放流事業

地域水産振興部会と連携しながら、マダイ、ヒラメ稚魚の中間育成及び放流を実施し、積極的に資源の回復、漁業生産の増大を図る。

また、マダイ、ヒラメの放流効果を調査するため、隠岐の島町、西ノ島町、大田市、浜田市の各市場において、放流魚の確認調査を行う。

事業費には、海づくり協会補助金、県交付金、地元負担金、栽培漁業推進ファンドの運用益を充当する。

○中間育成・放流計画

| 魚種 | 実施部会 | 中間育成 | | 放流 | | 育成場所 |
|-----|------|---------|-------|---------|-----------|-------|
| | | 数量(尾) | 大きさ | 数量(尾) | 大きさ | |
| マダイ | 隠岐島前 | 300,000 | 45 mm | 240,000 | 80~100 mm | 西ノ島 |
| | 隠岐島後 | 250,000 | 45 mm | 200,000 | 80~100 mm | 西ノ島 |
| | 出雲東部 | 100,000 | 45 mm | 80,000 | 80~100 mm | 恵曇 |
| | 合計 | 650,000 | | 520,000 | | |
| ヒラメ | 出雲東部 | 55,000 | 45 mm | 49,500 | 80~120 mm | 恵曇、大芦 |
| | 出雲西部 | 45,000 | 45 mm | 40,500 | 80~120 mm | 浜田 |
| | 石見東部 | 110,000 | 45 mm | 99,000 | 80~120 mm | 和江 |
| | 石見西部 | 160,000 | 45 mm | 144,000 | 80~120 mm | 浜田 |
| | 合計 | 370,000 | | 333,000 | | |

3 栽培漁業センター事業（県受託事業）

- (1) つくり育てる漁業（栽培漁業）を推進するため、健苗性の高い放流用種苗、養殖用種苗を生産する。
- (2) 生産した種苗の出荷・引き渡しを速やかに行う。
- (3) 種苗生産施設、機器等の適切な維持管理を行う。
- (4) 放流用種苗の健苗性、疾病の有無、成長状況の確認及び技術指導を行う。
- (5) 島根県の行う水質環境等の調査に協力する。

○種苗生産計画

| 区分 | 種類 | 規格 | 数量 | 生産時期 |
|-----|------|-------------------|--------|-------------|
| 放流用 | マダイ | 平均全長 45 mm | 650 千尾 | 5~7 月 |
| | ヒラメ | 平均全長 45 mm | 370 千尾 | 4~5 月、1~3 月 |
| 養殖用 | イワガキ | コレクター1枚当たり 10 個以上 | 12 万枚 | 5~12 月 |

※マダイ、ヒラメの数量については、各地区部会の要望数の合計。

※イワガキの数量については、養殖業者の要望数により変動あり。

4 種苗供給事業

(1) 幹旋種苗について

アワビ、カサゴ、キジハタ、イワガキなど要望の強い種苗については、運搬、配布方法等適切に対応する。

○種苗幹旋計画

| 種 苗 | 予定数量 | 配付予定団体数 |
|-----------------|--------------|---------|
| アワビ (30 mm) | 200,000 個 | 9 団体 |
| キジハタ (100 mm) | 20,000 尾 | 4 団体 |
| カサゴ (100 mm) | 35,000 尾 | 2 団体 |
| イワガキ (10 個以上付着) | 120,000 枚 | 35 団体 |
| アカウニ (20 mm) | 20,000 個 | 2 団体 |
| トコブシ (20 mm) | 5,000 個 | 1 団体 |
| コンブ | 150m (50m/枠) | 1 団体 |
| サザエ | 3,000 個 | 1 団体 |
| ヒオウギ (10 mm) | 100,000 個 | 1 団体 |
| ウナギ | 200kg | 1 団体 |
| ワカメ | 40 枠 (17m/枠) | 3 団体 |